

THE OTTEOKI
ONMONO
EM

2006年3月1日
No. 25

ボカシ



編集：EMボカシネットワーク 〒105-0014東京都港区芝2-6-3三宅ビル4F TEL03-5427-2349
発行：EM研究機構 〒904-2203沖縄県うるま市川崎468番地 TEL098-972-6060
印刷：社会福祉法人きそがわ福祉会 きそがわ作業所 〒493-0007愛知県一宮市外割田西郷西151 TEL0586-86-3763

ボカシでつくる大きな輪 皆で広げよう幸せの輪



無添加パンとクッキーが好評。cafeあじさいスタッフ一同
香川県高松市 授産施設「あじさい」

社会福祉法人 信生院

ベデル病院理事長

都末順トマルスン

皆さんこんにちは。誌面を通じてEMボカシネットワークの皆さんと交流が出来て、とても嬉しく思っています。現在、私は仕事も忙しくしていますが、一番忙しいのは、EMに関する活動なのです。

私は「EM」という素晴らしいものを韓国全土に知らせることに力をいれています。これまでに、韓国国内の福祉施設や官公庁、地域の住民団体と、遠くはアメリカのロサンゼルスにおいて、合計で500回くらいEMセミナーを行なって来ました。

EMセミナーを受けられ、EMを活用した皆さんからは、アレルギーノーズ、糖尿病などに効

果が感じられたという話を伺いました。また農業では、イチゴの糖度が高い、トウガラシの収量が増えた、じゃがいもの保存期間が長くなった、などの報告も受けました。EM入り廃油石けんも大変人気があります。韓国全土にあるYWCA（女性があらゆる機会において社会参加、自立することにより、平和な世界を実現するために働く、国際的な会員運動体。1000ヶ国以上の約2500万人が会員。距離、言語、文化の壁を越えて、平和、人権、健康、環境のためにキリスト教を基盤にした行動を続けている。）では、EMの活動もとても積極的に行なわれています。次の世代に美しい自然を引き継いで行くため、EMボカシネットワークのみなさんと共に力を合わせていると感じています。みなさん、これからも永く頑張っていきましょう。

■施設紹介■

ベデル病院は社会福祉法人信生院の施設のひとつで2000年1月、キリスト教の理念を元に知的障害者へ質の高いサービスを提供し、社会への復帰を援助する目的で設立されました。

この他に、重度障害児の入所施設であるNUL PURUM HOUSE（職員60名）、知的障害者の社会復帰支援施設ベテルクラブハウス（職員30名）、認知症の高齢者を対象としているデイサービスセンター（職員10名）があります。

ベデル病院では、職業訓練とリハビリを目的に、米のとき汁EM発酵液、EM石けん、EMシャンプー、EMリンス、EMボディソープなどを生産して、韓国国内のYWCAで販売しています。

EMボカシネットワーク韓国の活動

EM活動の広がりMAP



トマルスン
EMボカシネットワーク韓国の都末順支部長は、EMセミナーの講師として、これまでに500ヶ所で講演をしました（地図の●の場所）。NGO、行政、YWCAの皆さんが主な対象です。



慶尚南道の梁山市へ、仲間たちがEMボカシを毎月7~8t納品しています。梁山市は、市営のアパート28ヶ所へEMボカシを無料配布しています。



EMボカシネットワークの仲間が交流を深めています。済洲道（済洲島）のEM環境センターへ2泊3日の楽しい研修旅行で多くを学びました。



EMボカシネットワーク韓国の中心。社会福祉法人信生院のベテル療養院。小児病棟や社会復帰施設などがあります。新病棟はEM建築！畑や庭、池もEMで管理しています。

「出来上がりに苦心する 石けん作り」

神石ふれあい作業所

中国支部 久岡 豊

四季折々に美しい自然を見せる
国定公園帝釈峡の近く、広島県
神石高原町に「神石ふれあい作
業所」があります。メンバー十
数名が通う小さな作業所です。

主な作業は、自然と環境に優
しい製品作りをモットーとして、
牛乳パックのリサイクル製品、
アルミ缶の回収分別、EM廃油
石けん、EMボカシづくり、間
伐材を利用したフラワーポット
作りなど、地域の一員として頑
張っています。

EM廃油石けん作りは、「T
HEボカシ」に掲載された作り
方を参考にして固形と液体を作
っています。なかなかうまく
いきません。

固形石けんづくりで悩んでい
るのは、町内から提供された食

用廃油の品質の違いや、ブレ
ンドの仕方によって固まり具合、
色具合が違ってくることです。
もう数年作っていますが、毎回
同じものが出来ず、まるで生き
物を扱っているようで、それが
悩みであり、楽しみでもありま
す。一日の仕込み量は、豆腐パ
ック60ケースになります。そ
のひとつひとつに個性があって、
出来上がるのを毎日見るのが楽
しいとメンバーが言っています。
出来上がった石けんは台所の油
汚れ、体
操服の汚
れ落とし
に効果が
あると好
評で、在
庫を切ら
さないよ
うにと頑
張ってい
ます。



手作業でいいねいに、EM石けんの袋詰め。

液体石けん作りも同じように、
廃油のブレンド、米のとぎ汁E
M発酵液の出来具合により、
透明度、色具合がバラバラで毎
回同じものができません。天然
アルコール作りから始めますの
で、製品に仕上がるまで二ヶ月
半かかります。そのため途中で
手直しすることが難しく、各々
の作業を丁寧にすることが大切
だと痛感しています。作り始め
てまだ月日が浅く、作り方を研
究して良い製品を作りたいと思
っています。

こうして神石ふれあい作業所
で作ったEM廃油石けんが、各
家庭で使われ、流れ出る排水が
川を流れ帝釈峡の湖に注がれる
ことによって浄化がすすむ、と
いう中国EM普及協会からの励
ましや技術指導を頂きながら、
これから良い製品作りに励み
たいと思います。

こんにちは静岡支部をよろしく

静岡支部 支部長 宮崎善且

平成16年3月17日、静岡県富士宮市において“2004年環境フォーラム「富士宮」”が開催され、同日「EMボカシネットワーク静岡支部」が発足しました。県内でEMボカシを製造販売する7小規模作業所と支援者で構成されています。

それぞれの授産所が作り方や販売方法などの問題を肩肘張らずにざっくばらんに出し合い、お互いのEMボカシの品質を高めていこうということ、平成17年度は2回の研修会を計画しています。毎回、順番に加入授産所を会場にし、それぞれの作り方でEMボカシ作りを体験し、その後、学習会、情報交換と1日中身の濃い研修会になっています。

これからもEMボカシネットワーク活動を県内に広めていきたいと思っておりますので、ご指導の程宜しくお願いたします。

小規模授産施設ワークショップ

ふれあい 所長 内藤善仁

「障害を持つ利用者」

EMボカシを通して地域に貢献

ワークショップふれあいは平成7年4月2日に開所。利用者10名と職員4名で、自主製品であるEMボカシづくりを通し、地域社会に貢献していることを励みに活動しています。イベントなどに多く出店し、EMボカシの販売促進を図るとともに障害を持つ利用者の社会参加の機会を増やすよう努めています。

ワークショップふれあいとEMボカシとの出会いは小規模授産施設として開所する1年程前になります。障害を持つ人も就労の場を作りた

いと活動する「富士宮手をつなぐ育成会」とEMボカシを広めることで善循環型社会の実現を目指す「富士山フォーラム」との出会いに端を発します。それが環境と福祉の融合となり1年間の準備の末、自信を持つ

て販売できるEMボカシが完成し、まさしく、EMボカシを作る授産所として開所したのです。EMボカシ作りは利用者全員で取り組むことができるので、手作業で真心を込めて作っています。

また、EMボカシは市内10店舗以上で委託販売され、年間3000袋以上販売し、事業収入の多くを生み出しています。

ていねいに、ていねいにEMボカシをつくる。



研修会で熱心に情報交換。

「寒い冬のホットな情報」

知的障害施設 榎の木学園

関東支部 加藤次郎



かぼかぼか
シボカボカ
カボカボカ
ボカボカ
EMボカシ
足湯

寒い冬になる
と子供の頃から
必ず手足がしも
やけになってし
まうという20
代の女性が私達

と同じ法人傘下にある授産施設「ときわぎ工舎」に就職しました。そこでぼくはその女性職員に、「EMボカシを麦茶パックに入れて洗面器に湯出しして、夜、テレビの前でくつろぎながら30分間しもやけの手をつけておいてごらん。1週間も経てば効果が感じられるはずだから」と伝えました。

その職員は、それまで皮膚科で薬をもらっていたけれど、効果がなかったのだそうです。ですからぼくの話聞いても、内心「どうせ治りはしない！でも、就職した職場の上司が言うことだからやらないわけにはいかないしな

ア。」というくらい気持ちで「ま、試すだけは試してみよう。」と仕事を終えて帰宅していききました。その日から2、3日後、その職員がぼくに、「治りました！ほら見て下さい。腫れていた指がやわらかくなりました！」と両手の甲を開いてみせてくれました。ぼくにしても驚きでした。内心「1週間で効果が出るよ」とは伝えたものの、「ちよつとハツタリだったかな？」と心配の気持ちもありましたが、結果は杞憂にすぎませんでした。

今年の秋の文化祭では「足湯コーナー」を設けて、効能を確かめて頂きました。保温性も高く、これからの冬の季節、「入浴用EMボカシ」は寒さ知らずのスグレものです。EMボカシは、様々な生活シーンに役立てることができまますネ！

入浴用EMボカシの特徴は：

- ①特に新鮮な米ぬかのみを原材料にしています！モミガラは使いません。
- ②6ヶ月以上の長期熟成ボカシです！（これは生ゴミ用も同じ）

③米ぬかのみですので、仕込みから3日めに、一度密閉容器のふたを開け、「乳酸発酵」が進むように調整していきます。（モミガラ入りなら密閉のままでも乳酸発酵が優勢に進みます。）

（財）自然農法国際研究開発センター

天野理事長より

生ゴミ処理用には、臭い消しや腐敗防止の効果が高い酢酸を多く生成させたEMボカシが適しています。ツンと鼻をつく、お酢の様なセメダインの様な香りがします。もしEMボカシを入浴用に使うなら、青リンゴのような甘酸っぱい香りがして、お酢よりもお肌にマイルドな乳酸を多く含んだ方が、気持ちがいいのではないのでしょうか？仕込みから3日後、ふたを1昼夜明けておくなどして、乳酸菌のため米ぬかみのEMボカシに空気を送りましょう。この後はいつものように密閉して熟成させて下さい。6ヶ月後、出来上がりのEMボカシの香りを比べてみて下さい。少し違うと思います。

「EMボカシ作り」 取り組んで」

知的障害者通所授産施設

ほがらか福祉園

新潟支部 吉岡政司

ほがらか福祉園は新潟市内にある施設です。少し離れば広大な蒲原平野が広がっています。当園では地域の方からお借りしている畑でEMボカシを使用し、味噌作りに使用する大豆などを作っています。

EMボカシに出会ったきっかけは、約10年前、新潟市がゴミ減量の一環としてEMボカシを取り入れていることを知り、当園でもリサイクルを目的に古紙回収や廃油せっけん作りなどの作業を進めていて興味を持ったところが始まりです。それから講習会やEM研究会の方をお呼びしてEMボカシ作りに取り組んだのです。



EMボカシ材料を
手で混ぜ合わせます。

EMボカシ作りは6、7名の利用者が協力して行ないます。手順を見越し進んで準備をする

方、職人級の手つきで丹念に材料をかき混ぜる方など様々です。皆さん真剣な表情で時々楽しいおしゃべりも交えながらEMボカシ作りに取り組んでいます。

私たちの作ったEMボカシはバザーや施設、近くのホームセンターで販売しています。バザーでは、直にお客さまの声を聞けるので大変勉強になります。



ペットボトルに詰めたEMボカシ。
使いやすいと好評です。

やはり一番嬉しい言葉は「EMボカシ使って良かったよ。」という声です。利用者も思わず笑みがこぼれます。

また、年に数回新潟市が主催するEMボカシ講習会で、お話しさせて頂く機会があります。地域の方やお客様、ほがらか福祉園をとりまく方々に喜んでもらえるような活動と品質の良いEMボカシ作りをこれからもみんなで励んでいこうと思います。

EMを活用した プール清掃で地域貢献

社会福祉法人昇陽会

知的障害者通所授産施設

ひまわり 雲石 和仁

「活動のきっかけ」

● 中学校の障害者学級の生徒がひまわり来訪

● 一緒にEM活動（ボカシ作り等）を体験

● プール清掃への活用などを提案（その中学校は授業で市民プールを使用していた）

● 学校の先生と一緒に大田市民プール清掃へのEM活用を提案（学校内では施設のボカシを使った野菜作りを開始）

● まずは、トイレや体育館の靴

箱等の消臭についてEMを導入

● 総合体育館の館長の理解が得られ、市民プールへのEM投入が決定

● 平成15年9月から働きかけ、平成16年10月より投入開始。



施設の仲間たちと中学生、ボランティアと一緒にプールに米のとぎ汁EM発酵液を投入しました。

EMフェスタ2005の教育分科会ではこの活動の成果を発表しました。

左の比較写真は平成17年2月17日のプールの写真ですが、左側の一般のプールでは水自体が茶色で濁っているのに対し、EMを投入した左側のプールでは水は透明で澄んでいます。

	大田市立A小学校プール	大田市民プール
水の色:	茶色	ほぼ透明
臭い:	無し	無し
pH:	6.5	4.5
水温:	3℃	2℃
見た目:		



掃除の時間も短縮され、汚れ落ちも良く悪臭がないEMプール清掃は、その排水も環境を浄化するために働きます。

もちろん見た目だけではなく清掃も非常に楽になり、実際に昨年よりも掃除がしやすいという意見や、臭いが無い、ヌルヌルしていないので足が滑らないなどの声もあり、清掃時間の短縮にもなりました。

また、例年は冬場に投入する殺藻剤を一切使う必要が無かったとのこと、コスト面でも効果があったようです。

この活動はNHKの地域版でも紹介され、現在各方面から問い合わせがきており、非常に多くの方が興味を持っていることを実感しました。



地域のダム湖は大量のゴミや汚水が流れ込み悪臭が発生しています。今後はこの問題に取り組んでいきます。

今後はさらに地域のプール清掃へのEM活用を広めるとともに、地域で悪臭で問題になっている三瓶ダムをEMで浄化できるように働きかけていきたいと考えています。



施設から地域への活動として広がりを見せています。

■事務局追補■

このEMフェスタでの発表は、後日、EM研究機構のホームページ (<http://www.emro.co.jp>) で公開予定になっております。詳しい情報はそちらをご覧ください。

品質は前処理で決まる!!

「前処理」とは
回収した廃食油にEMを混ぜ
ることです。



EMで処理前の廃食油

EMで処理した廃食油

リサイクル意識が高まって手
作りで廃油石けんをつくる人や
グループが増えています。
そんな皆さんが一番苦慮して
いる課題に廃油石けんのニオイ
が挙げられています。

ニオイの原因は廃油の中に含ま
れている汚れやゴミ、油自体の
酸化が元になっていると考えら
れます。

ここで登場するのがEMを活用
した石けんづくりです。EMの
働きはニオイの原因をクリアし
ます。比嘉
教授による
と、EMを
混ぜること
で廃油のク
ラスターが
小さくなり
汚れやゴミ
が沈殿しや
すくになり、
また酸化し
た油自体を
EMの抗酸



実際に施設で作って販売
しているEM廃油石けん
の数々

化能力で蘇生させるそうです。

汚れが全部
沈殿するの
で上澄みは
きれいに、
澄んでいます。



とうみつ1%
(20cc)
EM活性液1%
(20cc)

よく混ぜしっかりフタを閉める

回収した
食廃油
2リットル

一ヶ月間
寝かせる

石けんづくりを
試みている皆さんへ

まず、EMで前処理をして、
きれいで納得のいく石けんづく
りにトライしてみましよう!

全国EMボカシネットワーク支部一覧表

各支部の情報は本部事務局までご連絡を！！

本部事務局 東京都港区 TEL : 03-5427-2349 FAX : 03-5427-5890

- ★北海道支部 河西郡TEL 0155-62-5449 FAX 0155-62-5449
- 青森支部 十和田市 TEL 0176-23-1592 FAX 0176-23-1592
- 岩手支部 盛岡市TEL 019-604-9555 FAX 019-604-9550
- 三陸支部 宮城県気仙沼市 ..TEL 0226-24-2147 FAX 0226-24-2142
- 宮城準備事務局 仙台市 TEL 022-299-5004 FAX 022-299-5004
- ★関東支部 千葉県我孫子市 ..TEL 04-7184-2789 FAX 04-7184-4973
- 山梨支部 笛吹市 TEL 0553-47-1008 FAX 0553-47-1008
- 静岡支部 富士宮市TEL 0544-26-3262 FAX 0544-26-0522
- ★北陸支部 福井県福井市 ・ TEL 0776-27-6955 FAX 0776-27-3658
- 新潟支部 十日町市 ・ TEL 0257-57-9749 FAX 0257-52-4130
- ★中部支部 岐阜県可児市 ・ TEL 0574-65-6436 FAX 0574-65-6436
- 長野支部 駒ヶ根市 ... TEL 0265-83-3414 FAX 0265-83-3414
- 三重準備事務局 四日市市 ・TEL 0593-36-2111 FAX 0593-36-2110
- ★関西支部 大阪府大阪市TEL 06-6222-3903 FAX 06-6205-3903
- 大阪支部 東大阪市TEL 06-6782-6518 FAX 06-6788-0486
- 滋賀支部 長浜市TEL 0749-63-0180 FAX 0749-63-0195
- 京都支部 京都市TEL 075-492-3427 FAX 075-492-3427
- 奈良支部 生駒郡TEL 0743-57-3133 FAX 0743-57-3133
- 和歌山支部 和歌山市TEL 0734-23-5333 FAX 0734-23-5334
- 兵庫支部 芦屋市TEL 0797-22-5999 FAX 0797-22-5999
- ★中国支部 広島県深安郡TEL 0849-63-4510 FAX 0849-63-4953
- 島根支部 松江市 ・ TEL 0852-27-5517 FAX 0852-27-5517
- 徳島支部 徳島市 ・ TEL 088-622-8666 FAX 088-623-4304
- 香川支部 高松市 ・ TEL 087-843-3689 FAX 0878-70-0235
- 高知支部 土佐郡 ・ TEL 0887-82-0128 FAX 0887-82-2610
- 愛媛支部 松山市 ・ TEL 089-932-7100 FAX 089-932-7117
- ★福岡支部 福岡市 ・ TEL 092-852-8511 FAX 092-852-8512
- 佐賀支部 鹿島市 ・ ・ ・ TEL 0954-62-4543 FAX 0954-62-4543
- 長崎支部 諫早市 TEL 0957-24-5500 FAX 0957-24-5511
- 熊本支部 熊本市 ・ TEL 096-329-1777 FAX 096-329-1784
- ★沖縄支部 中頭郡 ・ TEL 098-935-4326 FAX 098-935-1600

(★印は、広域支部を表しています)

(平成18年2月現在29支部、2準備事務局)